



学校だより

平成22年12月 1日
江戸川区立清新第一小学校
江戸川区清新町1-4-19
NO.9

12月は、評価の季節です。

校長 甲斐裕子

♪あきのゆうひに～ てるやまもみじ～・・・。先日の音楽集会で、とても澄み切った声のハーモニーが体育館中に響き渡りました。清新一小の自慢の歌声です。それに呼応するように校庭の木々の葉が大変美しく染まりました。晴れた日は、青空をバックにしてまるで素敵な絵画展のようです。先月は、本校で展覧会がありました。多くの保護者・地域の方々にご参観いただきまして、心より感謝申し上げます。ナイトミュージアムもとても好評でした。日中ご来校することが難しい保護者の方々に自分の作品を得意気に説明している子どもたちの姿は、大変ほほえましく、夜の体育館でしたが、心がとても温かくなりました。夜ならではの効果を狙った演出もあり、参観者の方々が楽しまれているようで大変嬉しく思いました。



一つ一つ、大きな行事を通して、子どもたちはいろいろなことを学びます。まずは、その行事に対して自分なりの目標を立てます。その目標達成のためにどのように取り組むかを考えます。計画にそって実践します。失敗することもあるかもしれませんが、でも、子どもたちにとって失敗こそ貴重な学習です。何度でもやり直し、繰り返し取り組みます。そして、結果を出します。そこで、達成感をもつと同時に、改善点も見出し、次への行事(課題)に活かしていきます。この流れを簡単にまとめると、P(plan:計画)⇒D(do:実行)⇒C(check:評価)⇒A(action:改善された実践)となります。ものごとに取り組む時には、常にこのPDCAのサイクルで、よりよいものを目指していくことが大切なのです。

教育目標

- 体をきたえる子
- 思いやりのある子
- 最後までやりぬく子
- 進んで学習する子

12月を迎え、秋が終り、学校も2学期が終了します。本年度の本校の教育活動に対してもPDCAのC(評価)の時期となりました。私たちは、本校の教育目標の達成に向け、さまざまな取り組みを行ってきました。1年生から6年生までの発達段階に合わせて、学習のねらいがよく身に付くように手立てを工夫し、実践してきました。それが、今、子どもたちにしっかりと身に付いたのか検証を行います。通知表は、子どものその学期に頑張った評価ですが、見方を変えると、身に付けさせるべき力をしっかり指導してきたのかという私たち教員の評価でもあるのです。

教員の自己評価だけでなく、保護者の方々にも「学校関係者評価」のご協力をお願いいたします。(本日アンケートをお配りいたします。)清新一小がより素晴らしい学校となるようお力をいただきたいと思っております。そして、この機会にご家庭でも、1.2学期どうだったかなと振り返ってみてください。特に次の3点について、学校でも重点をおいて取り組みたいものですので、よろしくお願いいたします。

①早寝・早起き・朝ごはんを日頃実践することができたか。

②宿題・持ち物を声かけするなどして確認し、忘れないようにさせることができたか。

③「家庭学習週間」「読書週間」等の取り組みを趣旨にそって励まし、行わせることができたか。

「未来は、今よりもっとよくなる」ということを信じています。そのために「評価」が必要なのです。清新一小の来年度が今年度より、ますます魅力的な「児童が輝き、教員が輝き、保護者が輝き、地域が輝く」教育活動が実践できるよう各「評価」を真摯に受け止め、改善に努めます。